

## 特別活動 学習指導案

日 時 平成30年11月8日(木) 5校時

学 級 2年4組(男子13名 女子17名 計30名)

場 所 2年4組教室

授業者 坂 倉 大

### 1 題材名 「大人になるってどういうことだろう」

### 2 題材について

#### (1) 教材観

特別活動は、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら「様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する」ことを通して、資質・能力を育むことを目指す教育活動である。

学習指導要領に記載されている特別活動の目標(3)では、「自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。」と示している。

このことから、自己の課題を解決し、将来の生き方を描く活動を通して、事故の進路について意思決定し、その実現に向けて自主的・実践的に取り組める力をつけていくことが大切であると考えます。

集団や自己の生活、人間関係の課題を見出しながら解決することは、集団生活の向上だけでなく、自分の能力や適性など、自己理解を深めていくことにもつながり、進路学習を進めていくうえでも大きな意味をもつ。そこで、生徒それぞれが、自己の生き方について考えを深めつつ、集団や社会に参画し、世の中の問題を自分なりに解決していこうという視点を持たせたいと思い、本題材を設定した。

#### (2) 生徒観

本校の特別活動の目標は以下のとおりである。

① 望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする生徒。

② 自己を生かす能力を養うとともに、相手の立場や考えを理解し尊重しようとする生徒。

生徒たちは、これまで多くの行事や活動を通して、「一つの目標に向かってみんなで進むためには、相手の考えをよく聞き、自分の考えを話し、お互いのことを理解した上で物事に向かっていくことが大切である」ということを学んできた。その機会となったのが、5月に行われた皐月祭(体育祭)での組団活動や7月に行われた宿泊研修である。これらの行事を通して、3年生のリーダーや、学年執行部のリーダーを中心として、集団としての高まりがみられた。半面、学級の活動に目を向けると、それぞれが【いいもの】を持ってはいるが、自分の考えや思うところはあっても、「みんなと同じでいい」といって物事を決めようとする生徒や、語彙が豊富ではないために会話が続かなかったり、みんなの前で話すことに抵抗を感じたりする生徒もいる。

そこで、日々の短学活の時間や学級活動の時間に構成的グループエンカウンターの手法を取り入れ、心と心の通い合う人間関係づくり、環境づくりを進めてきた。

第2学年としての生活が折り返し地点に到達しようとしている現在、本音を語り、時には意見をぶつけ合いながらも、同じ理想・目的に向かって歩んでいこうとする力を育成したいと考えている。

### 3 指導目標および評価規準

#### (1) 指導目標

- ア 自己の生き方、学ぶこと、働くことに関心を高め、自己のよさを発見し、伸ばそうとする意欲を高める。
- イ 自己の将来に希望を抱き、その実現に向けて将来の生活設計を考えさせるとともに、今学ぶべきことや自己の生き方について考えさせる。

#### (2) 評価の視点と評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的によりよい生活や人間関係を築こうとする態度
よりよい集団活動に向けた実践をする上で必要となる知識や技能を身に付けるとともに、多様な他者との様々な集団活動の意義や役割を理解している。	日常生活の中から問題を見だし、その解決の為に話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりするために、思考・判断・表現している。	集団活動を通して身に付けたことを生かし、よりよい人間関係を構築しようとしたり、よりよい集団生活や社会を形成しようとしたり、人間としての生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしている。

### 4 指導計画 短学活などで取り入れていくショートエクササイズなど

時期	計画	学習内容
9月下旬から 10月上旬	より良い関係づくり	1日5分の自分探し
		エゴグラムで自分を知ろう
		気持ちの整理箱
		いいところコレクション
10月1週目	銀河祭に向けて	合唱で思いを伝えよう～銀河祭に向けて～
10月	級友のことをより深く知る	背中合わせの会話
		心をひとつに
		ペアで作るチェーンストーリー
		ねえ、どっちがいい
10月4週目	銀河祭振り返り	合唱コンクールで得たものは？
11月	コミュニケーションの促進	私の心とご対面
		「モヤモヤ」を「スッキリ」
		その気持ちわかるよ
		友達づくりの会話

### 5 本時について

#### (1) 本時の目標

「大人」というものに対してそれぞれ意見を持たせ、自分の考えを伝えあわせることで、「大人になる」ということについて多面的・多角的にとらえさせ、自己の生き方について考えを深めさせる。

(2) 指導の構想

「思考力・判断力・表現力」を育てるための言語活動のポイント

- ① 全体の中でお互いの意見を交流し、自分の意見と仲間の意見を比べさせる。
- ② お互いの考えた意見についてグループで交流し、多面的・多角的に考えさせる。

本時は、「思考力・判断力・表現力」を育てるための言語活動のポイントとして、特に「聞く力」「聞き方」に重点を置く。自分の心の中の声を「聞き」、相手の話を「聞く」ことにより、思考力や判断力を深め、1時間の活動を通して、少しでもいいので自分の中での変化を確認させたい。

(3) 本時の評価基準

観点	B おおむね満足できる	努力を要すると判断された生徒への手立て
思考・判断・表現	「大人になる」ということについて、法的・制度的な意味だけではなく、考え方の成熟度でも大人といえるということについて、グループ活動やお互いの意見を聞きながら、多面的・多角的に考察している。	自分が感じた思いを素直にプリントに記入させながら、他者の考えと自分の考えを比べられるように支援していく。

(4) 本時の展開

学習過程	学習活動	指導上の留意事項	◇教具／◆評価
活動の 開始 (15分) 見通し	1 前時のふりかえり  2 課題の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動テーマと流れの確認をする</li> <li>・未来予想図をもとにしながら、どこからが「大人」になるのか考えさせる。</li> </ul>	◇人生メジャー (未来予想図)  ◇ワークシート
大人になるってどういうことだろう			
活動の 展開 (35分) 課題の解決	4 自分の考えを書き出す(主体的)  5 全体で交流する(対話的)  6 深める(主・対・深)  7 グループで交流する(対・深)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が思う「大人」がどういう感じか、ワークシートに記入させる。</li> <li>・ワークシートに記入した「大人」だと思う状態についてお互いの考えを聞き合う。</li> <li>☆「法的な成人」が大人なのではないかという意見を意図的に拾っていく。</li> <li>・荒れた成人式のビデオを見せる。</li> <li>・お互いが感じた感想を話し合う。</li> <li>・グループで「大人になるとはどのようなことなのか」お互いに話し合い、考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分なりの考えを書いている</li> <li>◆認め合う雰囲気の中で、考えを深めている。</li> <li>◇TV・ipod</li> <li>◆法的な成人ではなく「考え方が大人になる」ように考え方を深めている。</li> </ul>
言語活動① 全体の中でお互いの意見を交流し、自分の意見と仲間の意見を比べる。			
言語活動② お互いの考えた意見についてグループで交流し、多面的・多角的に考察する。			
ま と め (10分) 振り返り	8 振り返りの記入  9 教師の話聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、感想とともにワークシートに記入させる。数名に発表させ、お互いの考えを聞き、ふり返りを共有する。</li> <li>・「いい大人になるってどういうこと？」という新聞記事を読み聞かせ、生徒が前向きな気持ちになるような話を贈る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆授業の前後での考え方に変化を感じ取ることができるか。</li> <li>◇学級通信</li> </ul>